

(様式1)

令和4年度佐賀大学研究者国際交流支援事業申請書

令和 4年 8月 1日

国際交流推進センター長 殿

事業責任者 (申請者)

所 属 芸術地域デザイン学部

職 名 准教授

氏 名 三木 悦子

下記のとおり令和4年度佐賀大学研究者国際交流支援事業に申請します。

1.国際研究集会名	JSPSサマーセミナー招聘研究者の研究発表会および展覧会		
2.事業責任者 (申請者)	三木 悦子 田中 右紀	3. 所属・職名	芸術地域デザイン学部・准教授 教授
4.開催期間	令和 4年 8月 9日 ~ 令和 4年 10月 21日		
5.申請区分	C) 一般		
Bの場合の共同研究課題			
6.実施方法 ※対研究者交流数を増やす工夫を7.概要に記載すること。	対面・オンライン		
7.国際研究集会の概要 ※交流の意義、若手研究者養成への貢献及び実現可能性及び将来発展可能性等についても記載すること。	J JSPS(日本学術振興会)サマープログラムの招致により、芸術地域デザイン学部有田セラミック分野で受け入れた、ドイツ人アーティスト・研究者 Ms. Johanna Laura König さんの研究成果発表会と展覧会「FEEDING LISTENING」の開催。 ヨハンナさんは6月~2ヶ月間、日本の特に有田のものづくりや工芸、それらを伝える文化について、さまざまな職人さんや制作者へのインタビューなどの調査と研究を行う。 本研究では肥前地区の焼き物生産の現場に在る職人の心、素材との関わり方、仕事と人の暮らしとの関係などに焦点を当てる。 また、展覧会ではこれらの調査を基に、その研究のメタファーを創作に繋げ表現する。 肥前地区の焼き物産業に携わる多くの窯元の代表や職人はもちろん、重要		

	<p>無形文化財保持者である今右衛門氏や柿右衛門氏、朝鮮陶工が渡った最初の地である唐津の焼き物制作者等、地域の人々に関わり、ものを生み出す制作者やその行為への深い理解に努めた。</p> <p>この研究において、西洋に育った彼女が捉える日本のものづくりの視点を通して、焼き物に携わる学生や研究者はもちろん、継承していくべき日本の産業、ものづくりや工芸の領域への理解や研究へと発展することを期待している。</p> <p>研究成果発表会・展覧会は、研究内容の主旨から、地域に広く公開し地域や産業に関わる人々との接点・発展の場としたい。</p> <p>-----</p> <p>「FEEDING LISTENING」</p> <p>1. 研究成果発表会</p> <p>○日時：8月9日（火）17:45～18:45</p> <p>○場所：佐賀大学有田キャンパス エントランスギャラリー</p> <p>○発表形態：対面、及びオンライン zoom を使用</p> <p>2. 展覧会</p> <p>○日時：8月10日（水）～10月21日（金）9:00～17:00</p> <p>※8月15・16日、及び土・日・祝祭日を除く平日のみ開催</p> <p>○場所：佐賀大学有田キャンパス エントランスギャラリー</p>
8.見込参加者数	<p>参加者数（概数） 50名（地域の研究対象者〔窯元・職人〕を含む）</p> <p>内、外国人数 5名、研究者数 15名、</p> <p>学部学生数 15名、修士以上学生数 5名</p>
9.招待講師	<p>所 属 _____</p> <p>職 名 _____</p> <p>氏 名 _____</p>
10.支援希望額	<p>金 額 _____ 200,000 円</p> <p>【内訳】 会議費、印刷費、ポスターフレーム、会場設営費等</p> <p>謝金 _____ 円</p> <p>旅費 _____ 円</p> <p>消耗品費 200,000 円</p>
11.他の外部資金等への申請状況	なし

※欄内に収まらない場合、適宜、行を追加し、ページを増やしていただいても構いません。

(様式2)

令和4年度佐賀大学研究者国際交流支援事業報告書

令和4年8月10日

国際交流推進センター長 殿

事業責任者(申請者)

所 属 芸術地域デザイン学部

職 名 准教授

氏 名 三木 悦子

下記のとおり令和4年度佐賀大学研究者国際交流支援事業の実施結果について報告します。

1.国際研究集会名	JSPS サマーセミナー招聘研究者の研究発表会および展覧会		
2.事業責任者 (申請者)	三木 悦子 田中 右紀	3.所属・職名	芸術地域デザイン学部・准教授 教授
4.開催期間	令和4年8月9日～令和4年10月21日		
5.申請区分	A) 学術交流協定(大学名) B) 共同研究 C) 一般		
6.参加者数 ※参加者名簿(別添) を添付	参加者数 72名 (+オンライン参加者 15 アカウント) 内、 <u>外国人数 15名</u> 、 <u>研究者数 10名</u> 、 <u>学部学生数 20名</u> 、 <u>修士以上学生数 5名</u>		
7.招待講師	所 属 _____ 職 名 _____ 氏 名 _____		
8.支出額	金 額 200,000 円 【内訳】会議費、印刷費、ポスターフレーム、会場設営費等 謝金 _____ 円 旅費 _____ 円 消耗品費 200,000 円		
9.国際研究集会の内容	JSPS(日本学術振興会)サマープログラムの招致により、芸術地域デザイン学部有田セラミック分野で受け入れた、ドイツ人アーティスト・研究者 Ms.Johanna Laura König さんの研究成果発表会と展覧会「FEEDING LISTENING」を開催。 ヨハンナさんは6月～2ヶ月間、日本の、特に有田のものづくりや工芸、それらを伝える文化について、さまざまな職人さんや制作者へのインタビューなどの調査と研究を行った。		

本研究では肥前地区の焼き物生産の現場に在る職人の心、素材との関わり方、仕事と人の暮らしとの関係などに焦点を当て、その成果を研究成果発表会で報告した。

肥前窯業圏でやきものに携わる職さんや制作者、地域の方々と多く関わりながら行ったこのプロジェクトの発表会には、地域の方々の関心を集め、暑い時期の発表にも関わらず多くの方が参加した。

展覧会ではこれらの調査を基に、その研究のメタファーを創作に繋げエントランスギャラリーで展示表現し、有田キャンパスの入り口を飾ったと共に、有田セラミック学生、重要無形文化財保持団体協議会有田大会開催に向けて柿右衛門窯や今右衛門窯の映像作成をしている地域創生 FW 学生、後期より受け入れた SPACE-ARITA 留学生にも学びの多い展覧会となった。

---

## 「FEEDING LISTENING」

### 1. 研究成果発表会

○日時：8月9日（火）17:45～18:45

○場所：佐賀大学有田キャンパス エントランスギャラリー

○発表形態：対面、及びオンライン zoom を使用

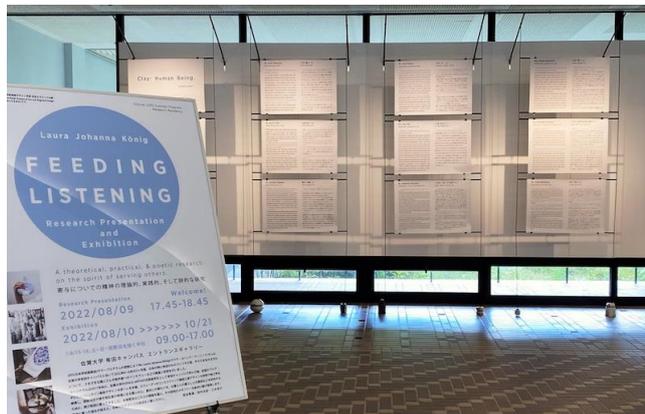
### 2. 展覧会

○日時：8月10日（水）～10月21日（金）9:00～17:00

※8月15・16日、及び土・日・祝祭日を除く平日のみ開催

○場所：佐賀大学有田キャンパス エントランスギャラリー

---





#### 10.事業実施による成果・今後の事業の発展等

研究成果発表会・展覧会は、研究内容の主旨から、地域に広く公開した結果、参加者の約 1/2 の方々が地域の方々であった。ヨハンナさんの研究は多くの地域の方々の興味関心を惹き、地域や産業に関わる人々との接点・発展の場となった。

有田での研究のあと、9月よりヨハンナさんは引き続きイギリスのウエストミンスター大学の博士課程で、さらに研究を深めている。

※欄内に収まらない場合、適宜、行を追加し、ページを増やしていただいても構いません。